

奈良工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	異文化交流Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0029			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	実習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	機械工学科			対象学年	2		
開設期	集中			週時間数			
教科書/教材	「CLIL Seeing the World through Maps (revised)」, 三修社, 笹島 茂 編, 仲谷 都 他著						
担当教員	朴 謹英						
到達目標							
1. 文化の多様性に気付き、異文化理解に対する意識を高めるとともに、自国の文化との違いを認知することができる。また、本校が提供するイマージョン・プログラム (immersion program) および国際交流プログラムに参加し、グループディスカッション並びにチームワークシヨップに積極的に取り組むことができる。 2. 異文化の存在を意識し、どのような態度で異文化を受け入れるべきか考え、行動に移すことができる。英語を用いてPPTグループプレゼンテーションおよびビデオ制作をサポートすることができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
英語による異文化理解力	地図を通して世界の地理や歴史を英語で十分理解できる。			地図を通して世界の地理や歴史を英語である程度理解できる。		地図を通して世界の地理や歴史を英語で理解できない。	
グローバル・コミュニケーション力	様々な地域 (area) の事情について、流暢な英語でコミュニケーションできる。			様々な地域 (area) の事情について、簡単な英語でコミュニケーションできる。		様々な地域 (area) の事情について、英語でコミュニケーションできない。	
英語によるクリエイティブな制作力	グループワークによる英語プレゼンテーションおよびビデオ制作ができる。			グループワークによる英語プレゼンテーションまたはビデオ制作ができる。		グループワークによる英語プレゼンテーションまたはビデオ制作ができない。	
学科の到達目標項目との関係							
準学士課程 (本科1～5年) 学習教育目標 (3)							
教育方法等							
概要	異文化に関するオープンマインドな姿勢で集中講義(イマージョン教育)および国際交流プログラムに参加し、英語によるプレゼンテーションやコミュニケーションを行うことで実践的なグローバル感覚を身につける。なお、ヨーロッパで普及している理科や社会などの科目内容と言語を統合した学習法、CLIL (Content and Language Integrated Learning) を用いて、世界の事情を英語で学び、考え、話し合う。						
授業の進め方・方法	講義、イマージョンプログラムにより、「異文化理解」における3つの構成要素 (①態度・②知識・③技能) を理解した上で、各プログラムのテストに従って、グループワークによる英語プレゼンテーションおよび英語ビデオ制作の準備を行う。また、国際交流プログラムへの参加と異文化交流を通して修得した知見をレポートにまとめ提出する。						
注意点	異文化理解に対するオープンマインドな姿勢を有することが必要である。そして実践的な異文化交流を行う対象国に関する基礎知識を事前に習得するなど、積極的な取り組みが必要である。 関連科目: 人文科学系の科目および社会科学系の科目の中、英語および社会、地理、文化に関連する科目 学習指針: 英語コミュニケーション能力の向上のために「聞く」、「話す」練習を行うこと。異文化交流プログラムへの参加に向けて英語による発表資料を作成すること。 自己学習 (事前学習および事後展開学習) 事前学習: 異文化交流を行う対象国に関する基礎知識を事前に調査すること。学校紹介や日本文化に関する英語プレゼンテーションを行うための資料収集、英作文練習、発音練習を行うこと。 事後展開学習: 各異文化交流プログラムを通じて学んだ知識、教養に関する英文報告書を作成すること。						
学修単位の履修上の注意							
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Guidance of Teaching Methods, contents and annual programmes		・ To understand how to learn the various contents in English		
		2週	Area 1-2: Europe / Africa		・ To understand the stories of Habsburg and the European Union ・ To expand the interest and knowledge about Africa		
		3週	Area 3-4: The Middle East / South Asia		・ To enjoy thinking related on the Middle East ・ To expand the interest and knowledge about South Asia		
		4週	Area 5-6: Russia and Its Neighboring Countries / East Asia		・ To become critical of the social issues in Russia and its neighboring countries ・ To understand the history of East Asia		
		5週	Area 7-8: Southeast Asia / North America		・ To become critical of the social issues in Southeast Asia ・ To understand the history of North America		
		6週	Area 9-10: Central America, the Caribbean / South America		・ To expand the knowledge about Central America and the Caribbean ・ To understand the history related on Japanese immigrants in South America		
		7週	Area 11-12: The South Pacific, the Antarctic / Australia and New Zealand		・ To integrate learning to take a step forward ・ To expand the interest and knowledge about the South Pacific, the Antarctic, Austrailia and New Zealand		
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					

後期		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
	3rdQ	16週	【GECEP SUMMER SCHOOL】 ・ The Special Event During Mid- to Late August ・ International Exchange Program with Hong Kong VTC, IVE Students ・ Cultural Exchange Activities / Optional Tour ・ Project Workshop / Team Project Presentation & Discussion	・ To be flexible and to use English for speaking out ・ To compare cultural diversity ・ To develop intercultural communicative competence ・ To express one's point of view with intercultural understanding
		1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
		9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
	4thQ	16週	【GECEP SPRING SCHOOL】 ・ The Special Event During Mid- to Late March 2025 ・ International Exchange Program with Singapore Nanyang & Republic Polytechnic Students ・ Cultural Exchange Activities / Optional Tour ・ School Introduction / Cultural Presentation & Group Discussion	・ To be flexible and to use English for speaking out ・ To compare cultural and religious diversity ・ To develop intercultural communicative competence ・ To express one's point of view with intercultural understanding

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		Group Presentation	Assignment / Report	合計	
総合評価割合		50	50	100	
基礎的能力		50	50	100	